

<その他>

模状束は、(上肢 または 体幹 または 下肢) の精細な識別型の触覚を伝える。

下顎反射に関係する2つの三叉神経核：() ()

顔面の精細な識別型の触覚を伝える神経が入力する三叉神経核：()

顔面の痛覚を伝える神経が入力する三叉神経核：()

頸動脈洞・頸動脈小体からの圧受容・化学受容は、() 神経の

頸動脈洞枝により伝達され、脳では () 核の尾側2/3に
伝えられる。

視覚伝導路について、正しい順番にしないさい。

視索 視交叉 視神経 一次視覚野 視放線 外側膝状体

光の通過する順に並べなさい。

硝子体 水晶体 角膜 双極細胞 視細胞 神経節細胞 強膜 脈絡膜

聴覚伝導路について、正しい順番にしないさい。

下丘 蝸牛神経核 ラセン神経節 一次聴覚野 外側毛帯 内側膝状体

<顔面神経について>

顔面神経は内耳孔にはいり、側頭骨の中で複雑な骨のトンネル (=顔面神経管) を走行して頭蓋骨から出て、(耳下) 腺の中を通過して顔面筋を支配する。頭蓋骨を走行するなかで、始めに(大唾液腺) 神経を分枝し、この神経は最終的に涙腺に到達する。次に鼓索神経を分枝し、鼓室に入ってから側頭下窩に出て、下顎神経に含まれる(舌) 神経に合流し、舌の前2/3の味覚を伝える。
また、鼓索神経の1部は、(顎下) 神経節に入り、顎下腺・舌下腺に分布する。

<12対の脳神経について>

知覚神経線維のみからなる脳神経：

(嗅) 神経 (視) 神経 (内耳) 神経

運動神経線維のみからなる脳神経：

(滑車) 神経 (外転) 神経 (副) 神経 (舌下) 神経

副交感神経線維を含む脳神経：

(動眼) 神経 (顔面) 神経 (舌咽) 神経 (迷走) 神経

<パーキンソン病について>

筋緊張は、(亢進する) または (低下する) または (変化しない)。
運動は、(亢進する) または (低下する) または (変化しない)。
大脳皮質は、(興奮する) または (抑制される) または (変化しない)。
欠乏するのは、(ノルアドレナリン) または (セロトニン) または (ドーパミン) である。